

| 第 31 回委員会（2004.7.29 開催）結果報告 | | 2004.8.2 庶務発信 |
|---|----------------------------------|---------------|
| 開催日時： | 2004 年 7 月 29 日（木）16:00～19:00 | |
| 場 所： | みやこめッセ 地下 1 階第 1 展示場 | |
| 参加者数： | 委員 32 名、河川管理者（指定席）23 名、傍聴者 272 名 | |
| <p>1．決定事項など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新委員会に向けた体制づくりに関し、委員の選出方法、選出スケジュール等について承認された。 ・ 河川整備計画基礎案に係る平成 16 年度事業の進捗の点検について報告があった。 ・ ダムWGに関する設置経過、概要、体制等について、およびダムに関する説明会等の予定について説明があった。 <p>2．議事の概要</p> <p>状況報告</p> <p>庶務から資料 1 - 1「前回委員会（2004.6.22）以降の状況報告」を用いて報告が行われた。</p> <p>新委員会に向けた体制づくりについて</p> <p>目的と構成、任期について、資料 2 - 1「新委員会の枠組みについて」を用いて委員長が説明し、その後、資料 2 - 2「平成 17 年 2 月からの淀川水系流域委員会の委員選定について」を用いて近畿地方整備局より委員の選出方法について説明があった。概要は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員の選出方法は、河川管理者が新たに委員候補推薦委員会を設置し、新委員の推薦をいただくものとする。推薦委員会のメンバーは、本委員会の立ち上げ時に設置した準備委員会のメンバー 4 名に新たに 1 名を加えたものである。 ・ 選出スケジュールは、本年末までに推薦委員会から委員の推薦をいただき、2005 年 1 月末までに新委員を委嘱するというものである。 <p>河川整備計画基礎案に係る平成 16 年度事業の進捗の点検について</p> <p>河川管理者から資料 3「河川整備計画基礎案に係る平成 16 年度事業の進捗の点検について」を用いて、堤防強化委員会、河川レンジャー、水害に強い地域づくり協議会等の状況について報告があった。主な意見は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防強化委員会の検討が在来工法の範疇にとどまっており、議論に不満がある。在来工法により発生している破堤をいかに防ぐか、さらなる検討を望む。 ・ 住民として日常的に川と付き合う、川を活用する、川と親しむといった視点にも留意した検討を期待する。 ・ 福井の水害でも感じたが、堤防は意外に脆弱な地盤の上に構築されている。この点にも着目した検討を実施願う。 ・ 市民団体が環境調査を実施しているところもあるので、情報交換をして欲しい。 <p>ダムワーキンググループについて</p> <p>今本リーダーより資料 4 - 1「ダムWGの概要および活動状況」を用いて、ダムWGの設置経過、概要、体制等について説明があった。既に開催されたWGについて、リーダーから、過去 3 回のダムWGでは議論にいたるまでの十分な説明がなされていない、との総括があった。</p> | | |

続いて、近畿地方整備局より資料4-3～4を用いて、ダムに関する説明会等の予定および5ダムに関する目的と想定される効果について説明があった。主な意見は以下のとおり。

- ・ ダムWG、住民説明会等の結果を早く公開してほしい。
- ・ 住民説明会における河川管理者の説明のスタンスは本委員会におけるスタンスと同様か。
- ・ 資料4-4の備考欄は説明不足である。

3. 一般傍聴者からの意見聴取

これまでの議論や資料等について、一般傍聴者から意見を聴取した。

- ・ 不信感をつのらさざるを得ない事項がいくつかある。対話集会の参加者構成、木津川流域の浸水被害解消に向けた記述の内容、川上ダムにて一部で工事が進行している事態などである。
- ・ 流域委員会の意見書や提言などが軽視されているのではないか。例えば、基礎案では「掘削時期を検討する」とあるが、意見書等を踏まえれば、掘削そのものの是非を検討するべきである。
- ・ 資料4-4について、治水に関する一部を除き、検討が不十分ではないか。
- ・ 原則ダムは作らないという立場で検討するのであれば、ダムを作らないための代替案を速やかに検討してほしい。調査の目的を明らかにするとともに、ダムなしという視点から調査を進めてほしい。
- ・ 住民説明会は箕面市でも開催してほしい。また、被害想定に疑問があるので、住民が納得する数字を示してほしい。

4. その他

芦田委員長より資料5「今後のスケジュール」を用いて、8月開催の会議について説明があった。また、近畿地方整備局より速報「平成16年7月福井豪雨災害資料」と用いて福井県の集中豪雨について説明があった。

- ・ 第36回運営会議 8/20(金)
- ・ 第32回委員会 8/24(火) 10:00～13:00
- ・ 第24回淀川部会 8/25(水) 13:00～16:00

以上

このお知らせは委員の皆様には主な決定事項などの会議の結果を迅速にお知らせするため、庶務から発信させていただくものです。